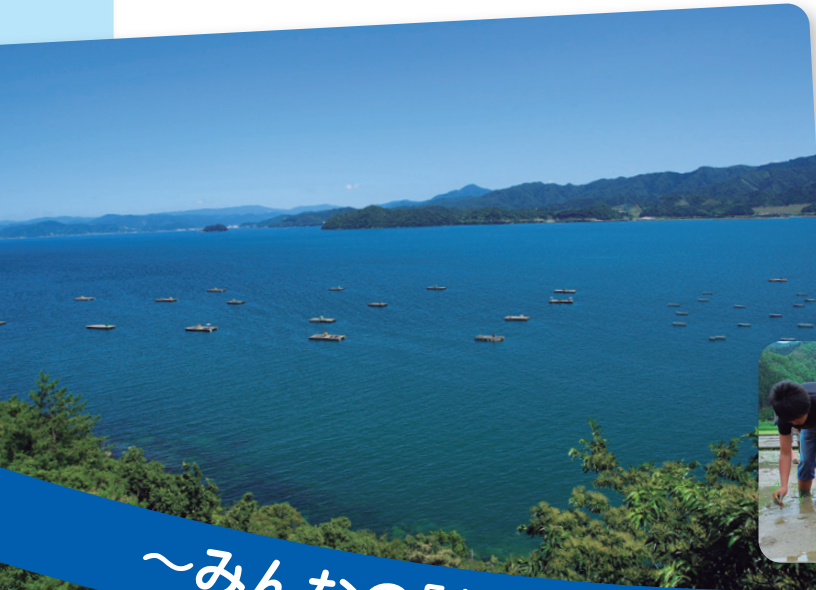


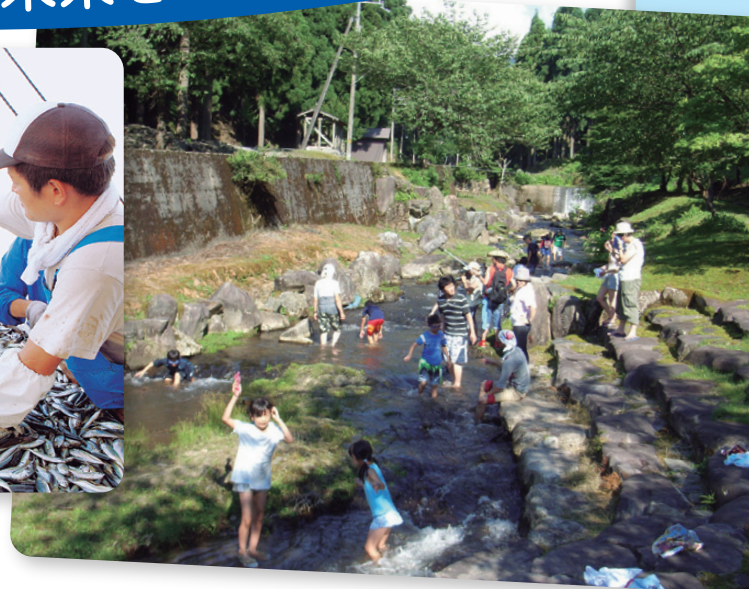
概要版

おい町未来創生戦略

平成27年度～平成31年度



～みんなの「若さ」でつなぐ、未来をつかむおい町～



おい町未来創生戦略とは？

活力あるおい町を創造していくために、みなさんと町が協力して進めていく戦略的取組を定めた計画です。

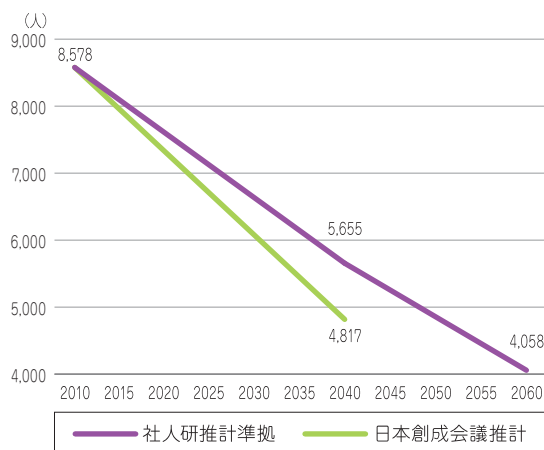
平成28年3月
福井県 おおい町

1 おおい町が消滅する？

「地域の若者が都会へ出ていってしまう。」「地域の子どもの数が少なくなっている。」といったことが、全国の多くの地域における課題となっています。地域の若者や子どもの数が少なくなれば、それだけ町に暮らす人は少なくなります。さらに、子どもを産む若い女性が少なくなれば、これまで以上に人口減少に拍車がかかります。

現在、約8,500人が暮らすおおい町ですが、2040年には、4,800～5,600人くらいに人口が減少すると予測されています。

さらに、2040年までに20歳から39歳の若年女性の数が半分以下に減ってしまうことが予測される自治体が、いま「消滅可能性自治体」と呼ばれています。本町もそのひとつです。

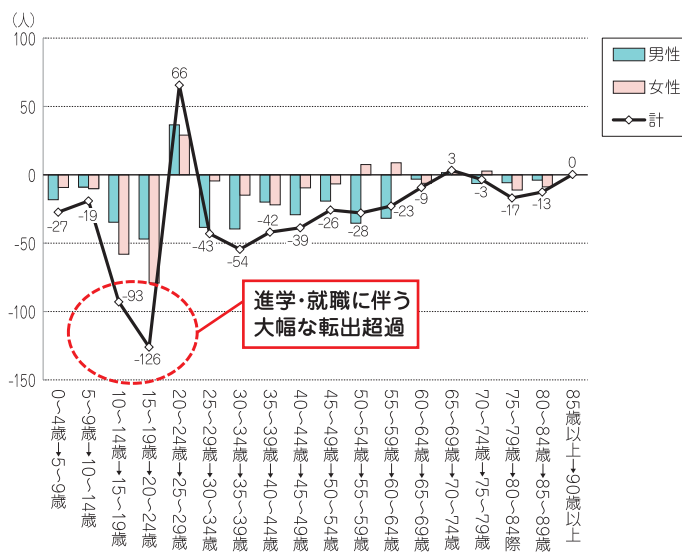


資料: 国提供人口推計用ワークシート (社人研推計・日本創成会議推計)

2 おおい町の人口変化に影響を及ぼす要因

(1) 社会移動の動向

男女ともに、進学・就職に伴う10歳代後半から20歳代前半における転出超過が大きくなっています。ここでは、男性より女性の転出が多い傾向があります。大学等の卒業後などに帰ってきている人もいますが、それ以降の働き盛り世代の転出も顕著となっています。



資料: 平成17年・平成22年国勢調査に基づく推計値

(2) 出生の動向

合計特殊出生率*は、福井県や全国を大きく上回っており、県内トップクラスの値となっています。また、有配偶女性一人あたりの出生数(有配偶者出生率**)においても、県や全国を上回っています。

	平成20年～平成24年	
	合計特殊出生率	有配偶者出生率
おおい町	1.94	82.1
福井県	1.62	80.3
全国	1.38	78.7

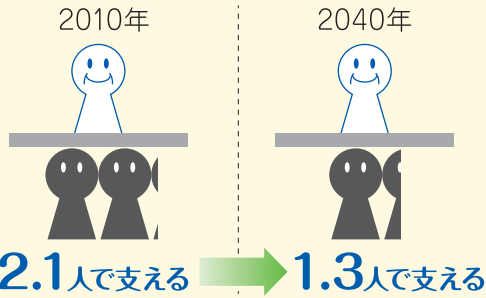
資料: (合計特殊出生率)人口動態保健所・市町村別統計 (有配偶者出生率)国勢調査、人口動態統計から算出

*合計特殊出生率…15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性が生涯に産むとされる子どもの数。
**有配偶者出生率…有配偶女性1,000人あたりの出生数。

3 人口減少・少子高齢化は今後も続く見通し

2010年では現役世代(15歳から64歳)約2.1人で高齢者(65歳以上)1人を支えていましたが、今後も現在の状況が続くと、2040年には現役世代ほぼ1.3人で高齢者1人を支えるという状況が予測されます。加えて、こうした人口減少・少子高齢化は、地域生活を支える様々な活動などに支障をきたすことが予想されます。

高齢者を支える模式図



人口減少が地域の将来に与える影響

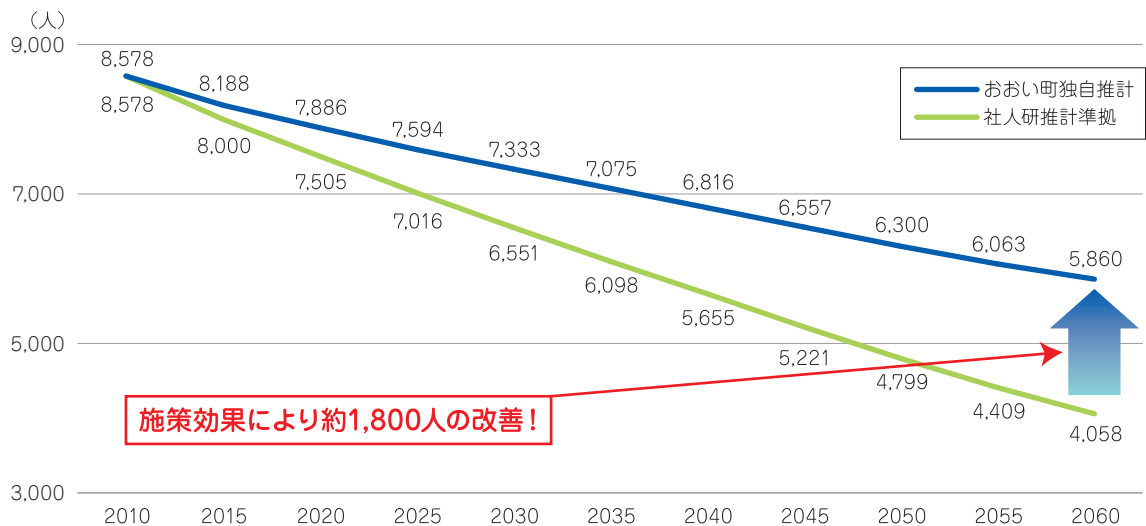
- 防犯・防災上の安全確保が難しくなる
 - 地域行事の開催が難しくなる
 - 商業施設の撤退や公共交通が不便になる
 - 耕作放棄地や放置林が増える
 - 学校の数が少なくなる
 - 現在の公共施設すべてを維持することが難しくなる
- …などが考えられます。

4 いま、町の力を合わせて取り組む必要があります

「おい町人口ビジョン」「おい町未来創生戦略」を策定しました!

本町では、町長を本部長とする「おい町創生総合戦略策定本部会議」を置くとともに、アンケート等の実施や産官学金労言の各領域からの代表者で構成する「おい町創生総合戦略有識者会議」の幅広い意見を聴きながら、町の人口の現状と課題について行政と住民が共有し、2060年までの期間で目指すべき方向性及び目標人口を定める「おい町人口ビジョン」と、その目標人口を達成するために取り組む5年間の計画である「おい町未来創生戦略」を策定しました。

そこでは、本町の豊かな資源を活用した若い世代の雇用創出にはじまり、まちの活力を維持するための全町的な取組や、移住・定住の促進等の戦略的取組を展開しています。



資料: 国提供人口推計用ワークシート

5 おおい町未来創生戦略について

(1) おおい町人口ビジョンの方向性

「おおい町人口ビジョン」では、2060年における人口について、現状に基づく推計から約1,800人増加させ、約5,800人の維持を目指します。本戦略の推進により、町の活力を向上させると同時に「合計特殊出生率の向上」「転出の抑制・転入の増加」を促進し、人口ビジョンの達成に向けて取り組みます。

成果目標

合計特殊出生率:1.94(平成20~24年の平均)→2.01(平成31年)

転入数5%の増加・転出数10%の抑制(=5年間で180人の転入増加あるいは転出抑制)

(2) 「おおい町の未来を若者で考える まちづくりワークショップ」より

本戦略及び第2次おおい町総合計画策定に向けて開催した「おおい町の未来を若者で考える まちづくりワークショップ」において、本町の未来を担う若者の観点から寄せられた、本町の良いところや課題を抽出しました。

本町の良いところについては184件寄せられ、海・山・川といった恵まれた自然や田園風景、地域のつながりや人柄についての意見が多くありました。一方、課題については96件寄せられ、交通の利便性に関することや都市基盤・雇用についての意見が多くありました。

(3) おおい町をさらに輝かせるための主なターゲット

- ① **若者・町出身学生**…若者同士による主体的な交流やまちづくり活動を活性化させ、地域への誇りと愛着を育みます。また、就学に係る支援や交流を活発にして、町へ帰りたくなるきっかけを増やし、受け入れ環境を整備します。さらに、常に新しい情報を発信することで「やっぱりおおい町に帰りたいな」「おおい町に行ってみたいな」と思える取組を進めます。
- ② **20~30歳代の自然とふれあい、働きたい女性**…就学等をきっかけに本町を離れる若者世代が多く、特に若年女性の減少が顕著となっています。一方で、本町の第1次産業は、従事者の高齢化及び担い手不足が深刻な問題となっていることから、女性をはじめとする担い手の活力を、町の活力につなげることが重要です。このことから、本町の豊かな自然環境を活かして、第1次産業をはじめとする雇用を充実させ、そこに従事を希望する20~30歳代の女性をターゲットとします。
- ③ **子育て中の家庭**…町外で就学・就職・結婚した人が、子育てを機に親との同居などによる暮らしを望み、地元に戻ってくるような環境整備を推進します。加えて、よりよい子育て環境を求めている家庭に、本町の恵まれた子育て支援環境をPRし、子育て家庭の転入を促します。

(4) 「おい町未来創生戦略」で目指すべき将来像と、戦略の全体像

本町の未来を育てていくためには、未来の担い手となる若い世代の活躍が必要不可欠です。本町で活躍している活力みなぎる若者をさらに増やしていき、町がいままで以上に活躍できる舞台となるよう、まちづくりを進めていく必要があります。

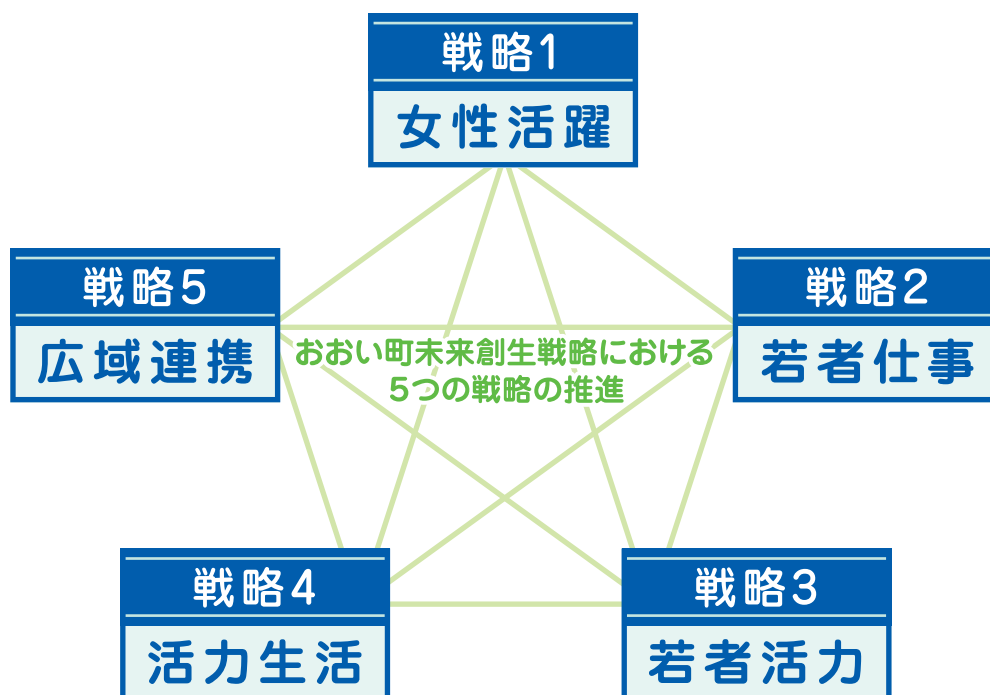
そのためには、若い活力に共感できる「若い想い」を集め、行動に移していく必要があります。本町で暮らす毎日は、四季の移ろい、自然との語らい、人々の交流など、日々、新しいことの連続です。日々感謝し、新鮮な気持ちで毎日を過ごしている人は、年齢に関係なく、みんなが「若い想い」を持った人であると考えます。このような「若さ」をつなげ、明日に向かって前向きに取り組むことが「未来をつかむおい町」につながると考えます。加えて、本戦略の推進中であっても「若い想い」を掘り起こし、さらに巻き込んでいくものとします。

また、将来像の達成に向けては、本町にゆかりある陰陽師*にあやかり、五芒星*を描く5つの戦略と、その好循環により推進していきます。

将来像

みんなの「若さ」でつなぐ、
未来をつかむおい町

5つの戦略の好循環により
将来像を達成!!



*本町にゆかりある陰陽師…本町の名田庄地区では、陰陽師安倍晴明の子孫(土御門家)が3代にわたり移り住み、120年あまりの間、
暦づくりの拠点となっていました。

*五芒星…陰陽道における魔除けの護符とされています。

(5) 戦略と事業の展開

戦略1

女性活躍

若年女性の活躍！雇用創出戦略！

本町の恵まれた地域資源を活用し、女性を対象とした第1次産業の担い手育成及び雇用の場の創出を図ることで、女性の活躍を推進・応援します。受け入れにあたっては、農林水産業に携わる女性への支援を行うと同時に、地域おこし協力隊についても女性にターゲットを絞り、若年女性が活躍できる雇用の場の創出と定着を図ります。

重要業績評価指標(KPI) 事業展開により活躍する女性の人数 ⇒ 累計15人(H31)

具体的な事業

じねんじょ

「自然☆女」獲得大作戦事業

女性が農林水産業に従事する姿をクローズアップすることで、活力ある町の姿を印象付けるため、農林水産業に従事する女性(=「自然☆女」)に対する支援を行います。加えて、文化やスポーツ、地域のコミュニティ活動への参加を促し、地域住民や生産者同士の交流を進めることで、それぞれの活動が、より活発なものとなるよう支援します。

<その他の事業> 地域おこし協力隊支援事業

戦略2

若者仕事

若者と仕事を創り出す！雇用創出戦略！

本町の恵まれた地域資源を活用すると同時に、若者に的を絞った雇用の創出及び産業振興を図り、町の活力を一層向上させます。加えて、付加価値の高い農林水産物・加工販売物づくりの推進はもちろん、農林水産業就業者に対する手厚い支援を行い、都会に売り込むことができる、価値ある仕事を創出する若者を育成・応援します。また、町出身者及び町外在住の人を対象に、本町での起業支援を行い、新産業の創出を促します。さらに創業に係る環境整備及び支援を行うことで、本町の産業がより活発なものとなるよう取り組みます。

重要業績評価指標(KPI) 事業展開による雇用の確保件数 ⇒ 累計30件(H31)

具体的な事業

「お～い★さかな君」発掘・育成事業

みけつくに
御食国・若狭を支える大島の漁業の一層の活性化に向けて、漁業に従事することを希望する男性(=「お～い★さかな君」)を全国的に募集し、自立に向けた支援を行います。

<その他の事業> 1次産業スタート支援事業 「儲ける」1次産業支援事業
 まるごとジビエ特産事業 IJUターン起業促進支援事業

戦略3

若者活力

「若さ」集結！みなぎる活力創生戦略！

本町の未来を創生していくためには、「若い想い」を集め、行動に移していくことが重要です。若年世代はもちろんのこと、日々感謝し、新鮮な気持ちで毎日を過ごしている「若い想い」を持った人を、町内外問わず集めていく必要があります。そのために、若者で組織する「おい若者まちづくり塾(仮称)」の実施から、まちづくりに主体的に取り組むことができる仕組みづくりを推進すると同時に、町外からもアイデアを募り、本町を取り巻く、あらゆる視点から町の活力を見出していきます。さらに、情報の発信・拡散ができるということも、「若い想い」が響き合っているからこそできるものと考え、磨き上げた戦略的な広報手段を講じつつ、観光等に係る取組についても積極的に推進していきます。

重要業績評価指標(KPI) 若者の提案によるまちづくり事業の実施数 ⇒ 累計8事業(H31)

具体的な事業 おおい若者まちづくり塾(仮称)

本町のまちづくりに興味がある若者を募り、テーマごとに議論を重ねることで、まちづくりについての意識を深めると同時に、次代を担うリーダー意識を醸成します。さらに、議論した内容を、実際の行動に移せる仕組みの構築にも努めます。

<その他の事業> 若者出会い・交流応援事業 学生政策コンテスト事業 都市交流活動支援事業
 おおい町進学サポート事業 おおい町戦略的PR事業 等

戦略4

活力生活

活力ある暮らし！生活基盤整備戦略！

本町の恵まれた子育て環境を積極的に発信すると同時に、本町への移住を希望する方の不安を軽減し、移住・定住の促進につなげます。加えて、住宅取得等に係る支援や宅地造成、対象者を絞った集合住宅の建設を推進し、本町の恵まれた自然環境での快適な住環境を整備します。また、近年増加する空き家問題にも積極的に取り組み、お試し移住をはじめとする空き家の利活用に向けた取組を行います。

重要業績評価指標(KPI) 住宅取得等に係る助成件数：14件(H26) ⇒ 累計100件(H31)

具体的な事業 子育て世代に優しい町PR事業

町内外において、子育て世代を対象とした相談会やイベントを開催し、町の優れた子育て支援施策を広くPRすると同時に、子育て相談窓口の設置やパネル展示等を行い、移住・定住の促進につなげます。

<その他の事業> 住宅取得等支援事業 宅地造成事業
 おおいの空き家は良い空き家！どんどん使って！事業

戦略5

広域連携

広域連携！共通課題解決戦略！

厳しい財政状況においても持続的に発展できる地域の実現を目指して、嶺南地域全体の課題について、嶺南広域行政組合及び嶺南地域広域行政推進委員会を中心に、課題解決に対する検討を行います。また、北陸新幹線若狭ルート、舞鶴若狭自動車道の4車線化など共通する課題について、関係自治体の連携・協力体制を整え、政策連携や事務連携を行い、課題解決に努めます。

重要業績評価指標(KPI) 嶺南広域連合の設立

具体的な施策 広域連合の設立推進

嶺南地域における広域連携を着実に進めるため、多様な広域的行政課題に対応できる広域連合を設立し、嶺南広域行政組合が処理する事務を移管するとともに、新たなニーズに対応する事務の広域連携などを進め、関係自治体の財政効率化や住民サービスの向上、嶺南地域の競争力強化などを図ります。

<その他の施策> □ 新たな事務連携の推進

6 おわりに

「消滅可能性自治体」に係るレポートの発表が大きな反響を呼ぶとともに「地方創生」が声高に叫ばれ、地方の活力創出が課題とされていますが、これまでも「地方」の自立的な取組が日本を支え、そして変えてきたように、地方創生においてもやはり「地方」が主役となります。

本戦略で定めた、本町の未来創生に欠かせない5つの戦略に取り組むにあたっては、住民、地域、団体、企業などの各主体との連携をより一層強化して取り組むことで、本町における少子化及び人口減少に歯止めがかかり、一層元気で活力あるおおい町の未来創生が果たせるものと考えます。

また、ここに掲げた取組に限らず、先進的な取組等については適宜積極的に学び、さらに地域課題に対応させたかたちで応用し、各主体との対話とともに取り組んでいきますので、住民のみなさまの積極的な参画を、ぜひとも宜しくお願い致します。

おおい町未来創生戦略 概要版

～みんなの「若さ」でつなぐ、未来をつかむおおい町～

発行年月：平成28年3月 発行：おおい町 総合政策課
〒919-2111 福井県大飯郡おおい町本郷第136号1番地1
TEL：0770-77-4051（直通） FAX：0770-77-1289